

【開催報告】2024.1.13(土)14:00-16:00 開催

ASP 第 6 回目『グローバルなアートマーケットについて考える』／宮津大輔氏（アートコレクター/横浜美術大学教授/森美術館理事）

●アーティストの実践的な学びの場『アーティストスタートアッププログラム』がスタート！

アーティストの成長・交流拠点 Artist Cafe Fukuoka では、アーティストの方々が実践的に学び次のステップアップにつなげていくためのプログラムとして、『アーティストスタートアッププログラム（ASP）』<https://artistcafe.jp/information/230512/>をスタートさせました。本プログラムは、全 8 回の連続講座から構成され、アーティストにとって必要な現代アートの知識やアーティストとしての姿勢、税や契約に関わる部分などを各分野の専門家から学ぶ場となっています。



●宮津大輔氏による

『グローバルなアートマーケットについて考える』

ASP のプログラム第 6 回目は、国内・世界のアート市場やアート作品の価格形成についてをテーマとした、『グローバルなアートマーケットについて考える』でした。

講師としてお迎えしたのは、アートコレクター/横浜美術大学教授/森美術館理事と幅広くアート分野に携わっておられる宮津大輔さんです。

宮津さんは東京都出身。1994 年以來、企業に勤めながら収集したコレクションや、アーティストと共同で建設した自宅が国内外で広く紹介されています。広告代理店、上場企業の広報・人事管理職を経て現職をつとめられており、『アート×テクノロジーの時代』『現代アート経済学』（光文社新書）や『現代アートを買おう！』（集英社新書）など著書も多数おありです。また 2022 年より「FaN Week」のチーフディレクターを務められ、2022 年秋には福岡アジア美術館で、特別展「エモーション

ル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館」が開催されました。1990年代から国内外の現代美術を蒐集してきた氏のコレクションと同館の所蔵作品を組み合わせ、現代のアジアの姿を映した東アジア、東南アジア地域の45作家を紹介する初めての試みとなりました。



会場である Artist Cafe Fukuoka のギャラリースペースでは、現地 38 名・オンライン 42 名の方にご参加いただきました。

宮津さんからは、国内外のアート市場や傾向、アート作品の価格形成となる評価/市場の種別や、要因となるものについて、著名な作家の作品を例にして解説いただく等、幅広くお話いただきました。

その中でも、『誰がアートの価格を決めるのか?』といった問いかけに対し、美術館/教育機関・批評家/商業ギャラリー/アートフェア/コレクターと、関係各位がいる中で、『コレクター』の存在が価格形成に非常に重要なポジションを担っており、前例は多

くの著名の作家の作品で実証されている、とのお話がありました。また、作品価値と価値づけのプロセスの中で、『誰が』『何を』の他に『コンディション』がとても重要であることをお話いただきました。（紫外線で焼けてない・折れてない・黄ばんでいないなど。数百万～数千万違う）

また、アーティストが世界で活動するためには

- ・一人だけではなく、ギャラリーと一緒に挑戦すること
- ・ギャラリーは**どんな目的でギャラリーを運営しているか、どんなアーティストを取り扱っているか？が重要**で、見極める必要があるということ。
- ・**優れたギャラリーを経営者として巻き込むこと**

・誰とどうやって自分のキャリアを進めてきたかが重要であること

等が重要で、そこに近道はない。泥臭い困難な中を努力していった先にしか成功は訪れない、と熱くお話しいただきました。

その他、キーワードとして下記が挙げられました。

- 絵の価格を評価する客観的・定評的な指標であり、それは作品の価値以外に別の生み出す価値が包含されている
- アート作品はプロフェッショナルが査定すると、それなりの決まった価格がある
- 価値の安定化・価格を決める要因は多数ある
- 製作費、制作時間、労力は価格と無関係である

●交流会_渡邊千尋さん講評



宮津さんの講義後はコミュニティスペースに移動し、現在コミュニティスペース内で展示中の九州産業大学4年生のアーティスト渡邊千尋さんから、展示作品のご紹介いただき、宮津さんから講評をいただきました。渡邊さんからは、この作品を制作した経緯や作品の制作意図について、丁寧にご紹介していただきました。

宮津さんからは、日本画でありながら、西洋の素材も使用した新しい日本画の作品となっていること。作品の表情に表れてる粒子が、一見動いていないように見えて動いており、興味深いこと。今後も活動していく上

では、日本画の歴史と背景を捉えた上で、日本画とは何かを深くこだわり捉えていくと、深みが増してとっと面白くなると思う。等と、具体的な講評をいただきました。渡邊千尋さんの作品は 1/30（火）まで展示しておりますので、ぜひご覧くださいね！

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！

※今回の講義に関しては、アーカイブ視聴ができません。申し訳ございませんがご了承ください。

アーティストスタートアッププログラムの第 7 回は、**2 月 17 日(土)14:00-16:00**

行政書士／Arts and Law 理事／ファウンダーでいらっしゃる、作田知樹さんによる『**アーティストとして知っておきたい法の話（契約編）**』です。

7 回目からのご参加も可能です。

多くの方にこの機会を活用し、アーティストとしての次のステップにつなげていただけたらと思っています。

申し込みはこちらから▶ <https://forms.gle/BSUormZVZbCSW5fQ8>



作田知樹

行政書士／Arts and Law 理事／ファウンダー

アートマネージャー・ラボ メンバー。

アーティスト・クリエイター・文化芸術機関向けの法や契約、事業運営サポートが専門。

米国／日本芸術文化政策の調査研究にも携わる。



渡邊千尋 (@sakurako_nagano)

2001年 佐賀県生まれ

2020年 九州産業大学芸術学部芸術表現学科 入学

2023年 大学日本画展 UNPEL GALLERY「とりどり」東京

2023年 個展「HORIZON」トネリコカフェ 佐賀

2024年 九州産業大学芸術学部芸術表現学科 卒業予定

Chihiro WATANABE

「Freeze」
渡邊千尋 展

2024年 1月10日(水) - 30日(土) 入場無料
開催時間 / 11:00 - 19:00 休館日 / 土曜
会場 / Artist Cafe Fukuoka, Community Space

2022 福岡県立美術館 21世紀の美術展
2022 大学日本画展「とりどり」UNPEL GALLERY 東京
2022 個展「HORIZON」トネリコカフェ 佐賀
2023 ART FAIR ASIA FUKUOKA 九州産業大学アートフェスティバル
2024 九州産業大学芸術学部芸術表現学科 卒業予定

Profile

2001年 佐賀県生まれ
2020年 九州産業大学芸術学部芸術表現学科 入学
2023年 大学日本画展「とりどり」UNPEL GALLERY 東京
2023年 個展「HORIZON」トネリコカフェ 佐賀
2023年 ART FAIR ASIA FUKUOKA 九州産業大学アートフェスティバル
2024年 九州産業大学芸術学部芸術表現学科 卒業予定

トークイベント
「アーティスト活動の
はじめの一歩」

2024年 1月10日(水) 14時 - 19時
会場 / Artist Cafe Fukuoka, Community Space

Guest

島崎一輝 Kazuki Torigoe
1988年 福岡県生まれ
2010年 美術展「2020-2021」(1) / Gallery MORYU
2021年「2022年」ART FAIR ASIA FUKUOKA / Gallery MORYU
2022年「Fukui Japan」(1&2)

渡川大志 Toshi Uekawa
1994年 福岡県生まれ
2015年 現代美術展「第33回」(1) 博多美術館
2019年「ついでに」(1) 九州産業大学美術館
2022年「福見展」(1) 九州産業大学美術館 博多美術館

〒812-0202 福岡県福岡市東区城戸2-5-5の丸の内ビル 2F Artist Cafe Fukuoka
● 所在地 / 〒812-0202 福岡県福岡市東区城戸2-5-5の丸の内ビル2F 2階(2階)202号
● 所在地 / 福岡県福岡市東区城戸2-5-5の丸の内ビル2F 2階(2階)202号
Access
● 電車 / JR東九州線 城戸駅 徒歩10分(徒歩) 徒歩10分
● 徒歩 / 徒歩10分(徒歩) 徒歩10分(徒歩) 徒歩10分





宮津大輔

アートコレクター／横浜美術大学教授/森美術館理事

上場企業の広報、人事管理職を経て大学教員へ。研究領域は、アートと経済、社会との関係性。
著書『現代アート経済学 II 脱石油・AI・仮想通貨時代のアート』（ウェイツ）など。

Artist Startup Program についてご質問・お問い合わせは下記にご連絡ください。

fukuoka@artistcafe.jp